

自閉症教育プロジェクト一日研修会

研究部

テーマ「本府での特別支援教育をどう進めるか」

- 現状の養護学級のあり方からどう進めていけばよいのか -

2005年8月2日(火) 東大阪市立イコーラムホールにて

170名を超える参加がありました。じっくりと染み渡る内容の濃い研修でした。以下に参加者の感想を紹介いたします。

<午前の部>

／坂下先生の実践を聞かせていただき、大変勉強になりました。養護学級が抱える問題や現状がわかり、その努力する姿勢に感銘しました。／今までなんとなく知っているという程度だった法のことを整理して示していただけたのがよかった。／事例を取り上げて説明していただけたので、とてもわかりやすかったです。／養護学級だから、今これだけの支援ができていますが、なくなってしまうと、通常学級に返された生徒、6.3%の生徒がもっと途方にくれてしまう。／養護学級の現状と取り組みについて知ることができたので、今後参考にしていきたいと思います。

<午後の部>

／基礎的なことから順を追って話していただけたので、とてもわかりやすかった。／障害のない子どもたちにもいえるのではないかとということがたくさんあった。また今後もこのような研修に参加したい。／高機能自閉症、アスペルガー症候群、自閉症スペクトラムのことがよくわかりました。知的に低い生徒にはもっと工夫がいると思いますが、実践するうえで、役立てたいと思います。／とても具体的でよかったです。いろいろな事例を交えながらの話がとてもわかりやすかったです。見通しを持つことが苦手、不安が強い児童についての話が聞いてよかったです。／山田先生の話聞いて、担任している子どもがパニックになっている理由がよくわかりました。／アスペルガー症候群の子の指導にとっても役立つ講演でした。／自閉症の子どもたちの特性について、深く知ることができました。／とてもわかりやすいお話で、支援の方法など具体的な話もたくさん聞いて、とても勉強になりました。

